



# ワクモ対策の新時代へ

—良好な鶏舎環境を実現します—

**ゴッシュ**  
**GOSH**

動物用医薬品

成ダニ駆除から、ライフサイクル遮断の新時代へ

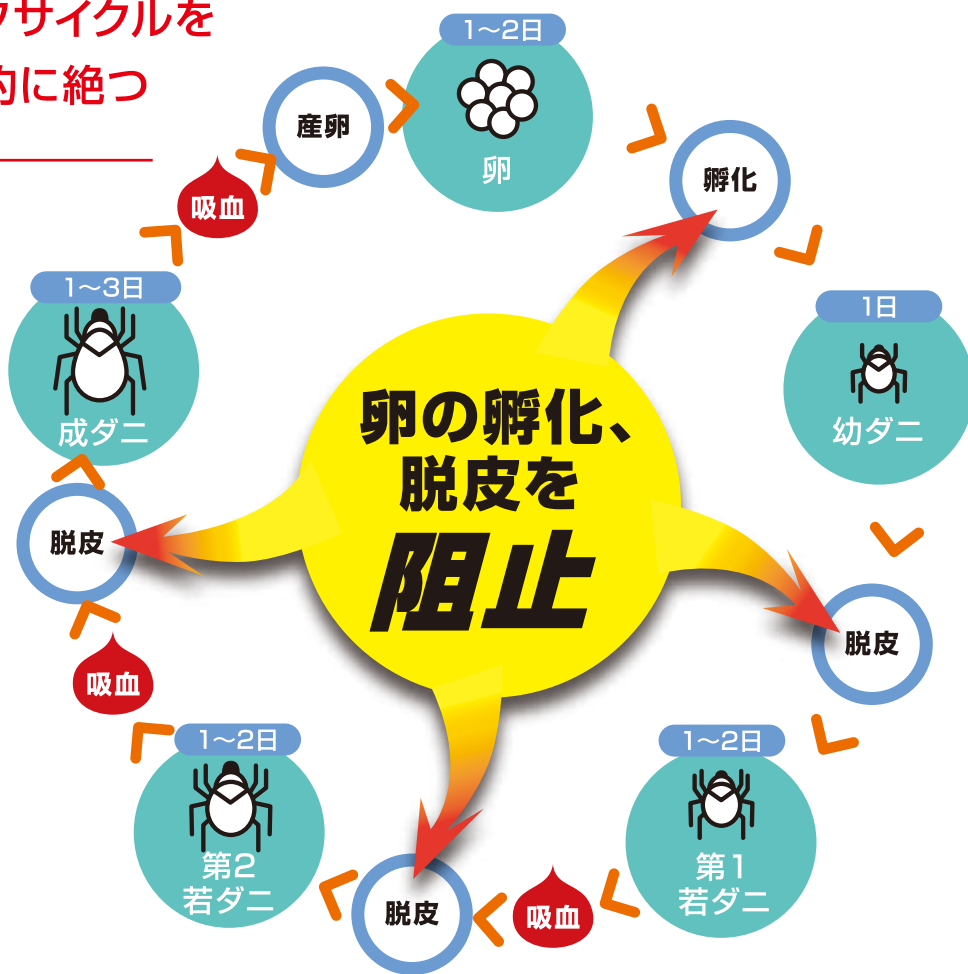
# 「孵化させない、脱皮させない」

IGR = insect growth regulators (昆虫成長制御剤) は、まったく新しい、ワクモ駆除の「進化形」です

ワクモの成長段階でライフサイクルを遮断

ゴッシュは、従来の殺ダニ剤（殺虫剤）と作用の異なるIGR作用をもった新しいタイプの殺ダニ剤です。幼ダニと若ダニの脱皮を阻止し、成ダニが産卵した卵の孵化も抑えるため、ワクモのライフサイクルを遮断します。

ライフサイクルを効果的に絶つ



## ■ ゴッシュの特徴

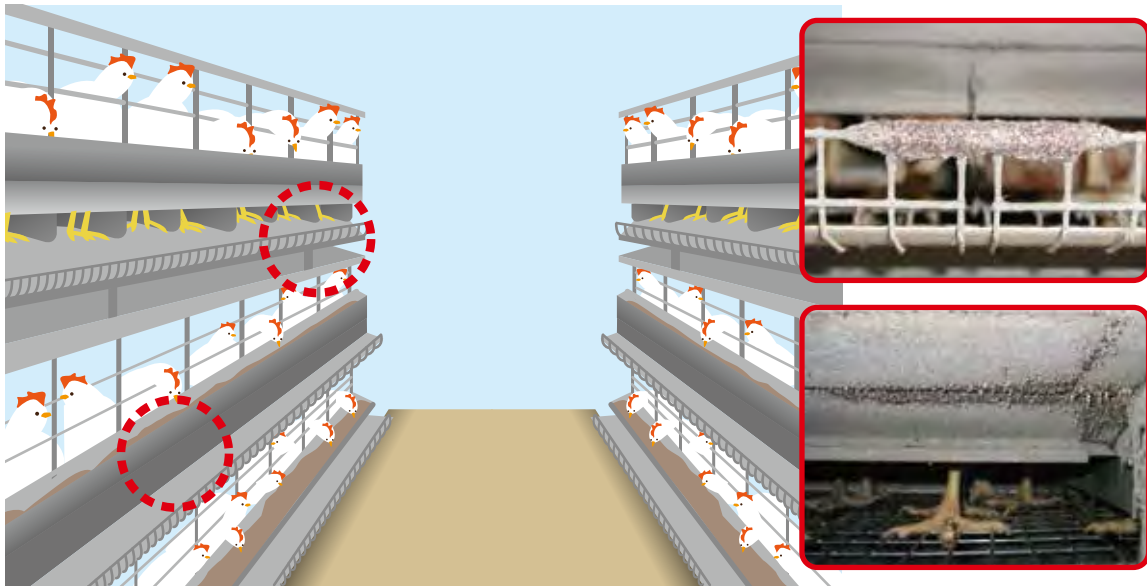
1 既存殺虫剤に抵抗性を持つワクモに対しても有効です

2 効果が長期間持続するので作業時間・頻度を軽減できます

3 鶏と作業者に対して非常に安全性が高い薬剤です

## ■ ワクモの発生ポイント

ワクモの発生しやすい箇所を破線○で囲んで表示しています。



本来、ワクモはケージ支持台や餌どい、卵受けにコロニーを作っています。目に見えるところにワクモが多いということは、膨大な数が生息しているということです。

## ■ 基本プログラム(オールイン／オールアウト時)



ゴッシュは噴霧後、長期間の持続効果が期待できます。従って、オールアウト後は水洗・消毒を行い、最後にゴッシュを噴霧してください。

注) ワクモが増えはじめたら、早めにゴッシュを再噴霧してください。

# ゴッシュの噴霧で実現する、「増殖させない環境」

長期にわたって持続する効果

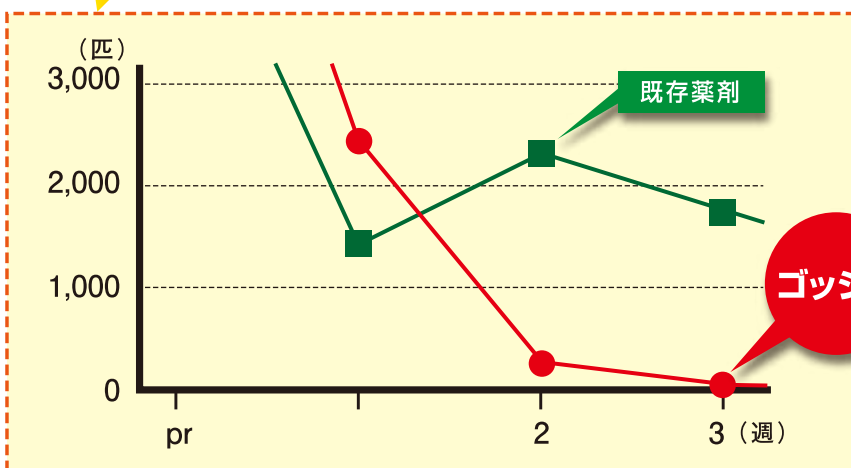
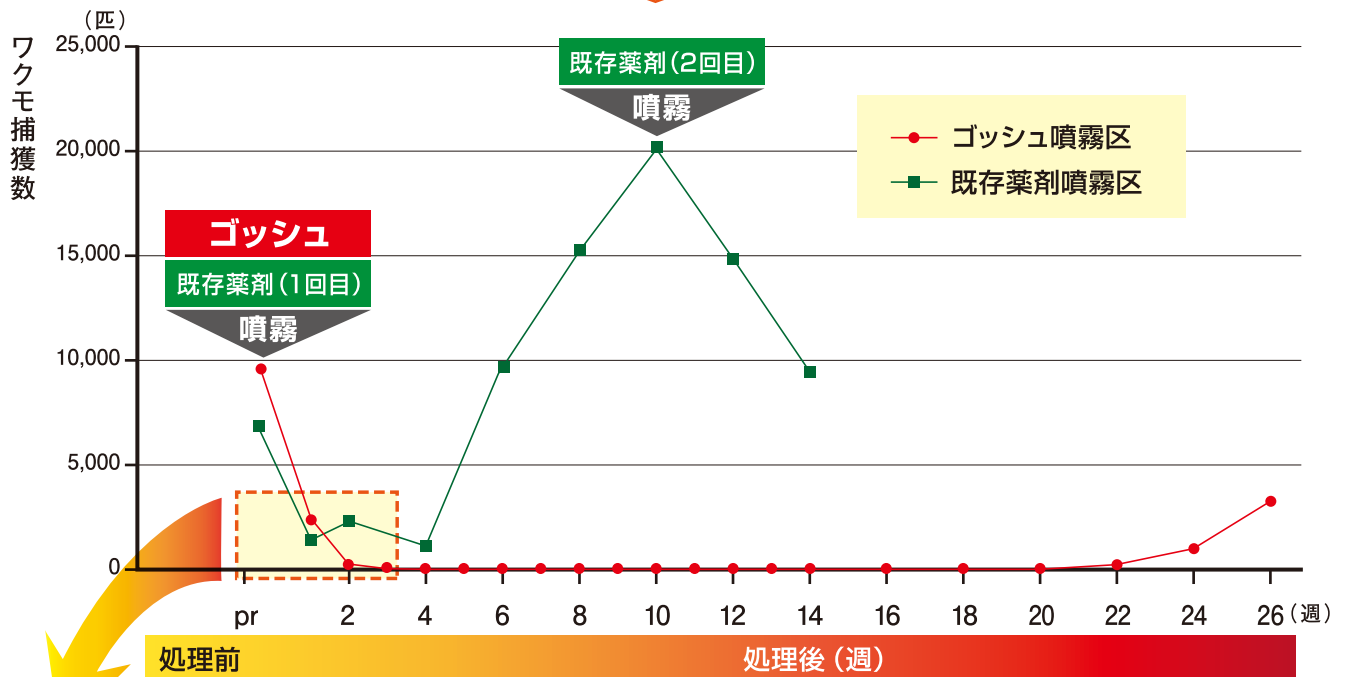
## ワクモに対する野外試験効果

鶏舎内のワクモに対するゴッシュの効果を確認するために採卵養鶏場で試験を実施しました。

### 試験方法

ゴッシュ100倍希釈液と既存薬剤（カーバメイト系）150倍液をそれぞれ鶏舎内に噴霧し比較しました。

### 試験結果



**ゴッシュ**  
GOSH

# ワクモによる被害。なぜ対策が必要なのか？

小さく、見えづらくても被害は甚大です

1

## 生産性、商品価値の低下

吸血によるストレスや産卵率の低下、またワクモの血液や排泄物による汚れが原因となる商品価値の低下が生産者を悩ませています。

2

## 疾病の媒介

ニューカッスル病ウイルスの媒介やサルモネラ菌などの病原微生物を運び、他の鶏に感染を広めます。

3

## 作業環境

養鶏場作業員への寄生により、痒み、不快感、アレルギー症状を引き起こす被害が多くなっています。

## 鶏はもちろん、哺乳動物に対して安全性の高い薬剤です

### I. 鶏に対する安全性

#### 試験方法

産卵鶏をケージに入れ、20倍希釈液(5倍量)を1㎡あたり400mLとなるように鶏の上方から1日1回、3日間連続噴霧して、鶏に対する影響を調べました。

#### 試験結果

試験群	一般状態	投与部位の臨床所見	体重	飼料摂取量	産卵率	血液生化学的検査	血液学的検査
5倍群	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
対照群	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

### II. 哺乳動物に対する安全性

	投与経路 期間	投与量 (mg/kg)	LD (mg/kg)	
			雄	雌
急性毒性 (ラット)	経口(強制) 14日間観察	2,000	>2,000	>2,000
	経皮 14日間観察	2,000	>2,000	>2,000

異常及び死亡例は認められませんでした

用法用量を守って使用してください。